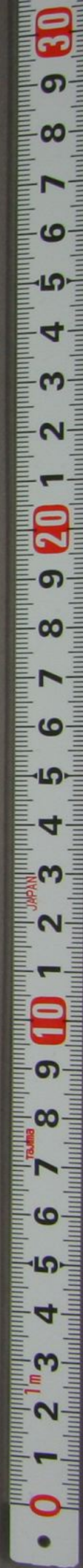


太政官職制事新算程

少輔 曼子 氏

22-31



414
A 469



別紙之通被
出以付テハ最前片渡五第以右
省野々章程中此權限ニ抵觸予首スル者ハ被棄
上小条此旨の相心得事

明治六年五月二日

太政大臣三條實美

大正十一年四月

勅旨

明治四年辛未七月制定スル所官省ノ位置職負
ノ權限各其序ヲ得ルト雖氏當今ノ時勢現勢上
ニ於テ或ハ其喫ナキ。能ハス故ニ太政官ノ職
制章程ヲ潤飾ス百官其レ之ヲ奉承セヨ

明治六年五月二日

太政官職制

天皇陛下親臨

正院

太政大臣

一頁

天皇陛下ヲ輔弼シ萬機ヲ統理スルヲ掌ル諸上
書ヲ奏問シテ制可ノ裁印ヲ鈴ス

左右大臣

職掌太政大臣ニ亞ル太政大臣政席ノ時ハ其
事務ヲ代理フルヲ得ル

參議

内閣ノ議官ニシテ諸棧務議判ノ一ヲ掌ル
以上三職トス

大内史

諸棧務ノ文書法案ヲ勘査シ國史ヲ修メ官記
位記等ヲ掌ル

權大内史

職掌大内史ニ同シ

少内史

棧務ノ文案ヲ草シ官記位記ヲ造リ記録ノ一
ヲ掌ル

權少内史

職掌少内史ニ同シ

大外史

文書記録傳達受付官中用度等ノ事ヲ掌ル

權大外史

職掌大外史ニ同シ

少外史

文書法案記録等ノ事ヲ掌ル

權少外史

職掌少外史ニ同シ

大主記

權大主記

中主記

權中主記

少主記

權ヶ主記

各課ヲ分テ官中書記計算其他ノ事務ヲ處ス
内史所轄七課一勾ヲ置キ各其事務ヲ起ス其課
長勾長ハ奏任以上ノ官之ヲ專任又ハ兼任ス
履歷課

監部課

財務課

法制課

庶務課

歴史課

地誌課

翻譯局

外史所管ニ課二局ヲ置キ各其事務ヲ處ス其
課長勾長ハ奏任以上ノ官之ヲ專任又ハ兼任
ス

記録課

用度課

印書局

博覽會事務局

式部寮

頭

寮中諸官負ノ首長ニシテ式礼祭祀一切ノ事務ヲ管理スルヲ掌ル

寮中諸官負ノ慶務ヲ指令シ各課ノ一ヲ統督ス

寮中諸般ノ事務章程年規ニ照シテ之ヲ踐行整理シ三職ニ對シ其擔保ノ責ニ任ス

掌管ノ事務ニ於テハ三職ニ對シ其當否ヲ辨明スルヲ得ル

各課ヲ廢立シ及寮中ノ諸規則ヲ更ニスル等ノ一アルハ正院ノ決裁ヲ乞テ之ヲ處置ス

寮中諸官負ノ能否勤惰ヲ監視シテ之ヲ進退黜陟スルト其負ヲ増減スル等ハ審按具狀ニ

テ正院ノ決裁ヲ乞フ

權頭

職掌頭ニ同シ

助

寮中各課ノ長トナリ其事務ヲ擔當スルヲ

掌ル各掌管ノ事務ヲ整理スルニ於テ頭權頭ニ對

シテ其責ニ任ス

權助

職掌助ニ同シ

大掌典

祭事神饌ヲ掌ル

大属

中掌典

權大属

少掌典

中属

權中属

大神部

大舍人番長

大伶人

少属

中神部

大舍人

中伶人

權少属

少神部

權大舍人

少伶人

各課ヲ分テ寮中諸般ノ事務ヲ処ス

左院

職制章程迄テ定ムヘシ

右院

各省長官次官

各當務實際ノ可否ヲ議スルヲ掌ル

勅命ヲ以テ臨時之ヲ開ク

太改官

云院事務章程

云院ハ天皇陛下臨御ニテ萬機ヲ総判ニ太改大臣
左右大臣之ヲ輔弼ニ參議之ヲ議判ニテ庶政
ヲ獎督スル所ナリ

太改大臣左右大臣ハ各一負ヲ限リ參議ハ定負
ナシ

凡ソ立法ノ事務ハ本院ノ特權ニシテ總テ内閣
議官ノ議判ニヨリテ其得失緩急ヲ審察ニ行政
實際ニ附スルキ者ハ奏書ニ允裁ノ鈐印ヲナシ

然ル後主任ニ下達シテ之ヲ處分セシム
凡ソ允裁ヲ乞フ奏書ハ内閣議官議判ノ上内史
其部類ヲ分テ之ヲ本帖及副本ニ寫シ本帖ニハ
議官之ニ連印シ内史之ニ記名シ之ヲ太政大臣
ニ出ス太政大臣之ニ鈐印シテ御批允裁ヲ受ケ
之ヲ外史ニ付シテ奉行セシム
但内閣ノ議決スレハ即日本文ノ手續ヲナシ御
批允裁ヲ經ル翌日之ヲ頒布スルヲ恒例トス
凡ソ帝國一般ニ布告ニ制度條例及勅旨特例ノ
事件ハ太政大臣ノ名ヲ以本院ヨリ之ヲ裁ハラス

諸省使寮司局ヲ廢立分合ニ行政事務取捨ノ便
員ヲ謀リ緩急ヲ判スルハ皆本院ノ特權タリ
勅書奏書ニ加名鈐印スルハ太政大臣ノ任タルニ
凡ソ勅任官ノ薦挙免黜ハ
宸斷ニ出ルト雖モ必ス内閣議官ニ諮ク太政大
臣之ヲ補賛シテ進退ス
凡ソ奏任官ノ進退ハ其所轄ノ奏聞ニヨルト雖モ必
ス内閣議官ニ諮ク太政大臣之ヲ處置ス
本院中判任官ノ進退ハ其所轄ノ具狀ヲ得内史
ヲシテ之ヲ處置セシム

凡ツ裁判上重大ノ訟獄アレハ内閣議官其事ヲ審
議シ或ハ臨時裁判所ニ出席シテ之ヲ監視スル
事アルヘシ

議改行政ニ属スル諸文書法案又ハ勅書令條差
除點陟ノ記録ホハ内史ニ付シテ司掌セシム

恒例ノ公文既幾ノ命令通常ノ達書ホハ外史ニ
付シテ司掌セシム

内外史所屬ノ各局評式部寮ホノ事務ハ各其主
任ヲレテ之ヲ管理セシム

本院中專掌スル事務ノ條款左ノ如シ

第一款

帝國經理事業ノ緩急ヲ考勸シ之カ目的ヲ定ムル

第二款

諸制度諸法律及諸規則ヲ草案シ之ヲ議決スル

第三款

賞罰ノ一

第四款

歳入ノ一

既定ノ諸租稅ヲ増減變更スル事

租税諸租稅ヲ興ス事

第五款

歳出之事

諸官省各局各地方官公費ノ額ヲ定ムル
諸官祿及旅費其他雜費ノ制限ヲ定ムル
諸族ノ秩祿及社寺給与ノ制限ヲ定ムル
非常ノ軍費及國費ヲ裁定スル

第六款

貨幣製造ノ方法及其品量ヲ定ムル

第七款

金券ヲ發行スル

第八款

内外國債ノ事

第九款

度量衡ヲ改正スル

第十款

州郡ノ經界ヲ画定シ及府縣ノ制置土地ノ名称
ガ更正スル

第十一款

諸港津ヲ開閉スル

第十七款

驛途運輸ノ法及郵便規則ヲ改メ道路ヲ變換シ
里程ヲ釐正スルコト

第十三款

地方警邏ノ規則ヲ定メ或ハ之ヲ變革スルコト

第十四款

錢道電信ノ行線燈臺設置ノ場所ヲ定ムルコト

第十五款

兵制ヲ改革スルコト

第十六款

兵員ヲ増減スルコト

第十七款

鎮臺兵營及提督府ヲ變更スルコト

第十八款

城壘武庫ヲ築造スルコト

第十九款

裁判所ノ權限ヲ定ムルコト

第二十款

各國條約ノ事

第二十一款

官負ヲ増減スル

内閣ハ

天皇陛下參議ニ特任シテ諸立法ノ及行政事務ノ當否ヲ議判セシメ凡百施政ノ機軸タル所ナリ

内閣ノ職負ハ各地方監察按察布政ボク故ヲ以テ特命派出シテ各部ヲ巡回スル一アルヘシ凡行政實際ニ涉ル事項ハ必ス其便否得失ヲ直任ノ長官ヲ召ヒ之ニ諮問シテ後太政大臣ニ出ス

スヘシ

當病不參ノ者アルハ回議ヲ其邦ニ送り其所見ヲ取ルヘシ

御批

右職制事務章程

上裁欽定スル所ナリ能ク之ヲ守リ其程限ヲ愆ル勿シ

明治六年五月二日

奉勅

太政大臣三條實美

右職制並事務章程臣尋恪守遵奉謹テ具職ヲ
奉ニ其責ニ任ス一ト也

太政大臣三條實美

右大臣嵯倉具視

參議西鄉隆盛

參議木戸孝允

參議大隈重信

參議後藤象三郎

參議板垣退助

參議大木喬任

參議江藤新平

内史官事務章程

内史官ハ正權大内史諸課ノ事務ヲ幹理シテ
局結括スルノ責ニ任ス正權少内史及奏任出
任ハ專務ノ課程ヲ分掌シ各主任ノ責ニ任ス
ヘシ

大内史ハ詔勅及官記位記ヲ掌リ直ニ太政大
臣ノ宣ヲ奉行ス

大内史ハ太政大臣ノ秘書記ヲ兼任ス

大内史ハ太政官印及少院ノ大印ヲ領リ大臣
ノ命ニ日リ之ヲ諸公書ニ押スヘシ

大内史專任ノ科目カノ通リタルヘシ

詔勅國書委任狀

諸布告文規則案及各章程カノ勘査

但此ニ項專任ノ分課ニ於テ按定檢査セシ

モノハ尚其文意字義ヲ覆按檢討ス

官記位記

諸官員進退ノ具狀

諸監察ノ一

官省月報考課ノ檢査

特命ニ出ル事務

機密ニレテ未幾ノ事件

大使事務

凡ソ此條件ヲ專任トス故ニ少内史及テ奏任出

任ヲ直隸シ之ヲ樞密ノ地ニ置キ他官ノ闡入ヲ

許サ、ル局トス

大内史ハ履歷監部ノ二課其課長ヲ心得ヘシ權

大内史ハ各課ノ内ヲ分任シ又ハ一課ヲ專任ス

ルヲアルヘシ

内史所管ノ各課カノ通タルヘシ

履歷課

此課ハ諸官負ノ履歷ヲ勅查ス

監部課

此課ハ監察メーヲ掌ル

財務課

此課ハ一切財用ニ關係スルヲ勅查ス

改表課ハ此課ニ附屬ス

法制課

此課ハ諸律法式禮規則章程條例ガニ關スルヲ勅查ス

庶務課

此課ハ財務法制ノ外一切ノ諸事務ヲ勅查ス

歴史課

此課ハ國史ヲ編輯スルヲ掌ル

地誌課

此課ハ地誌地圖ヲ編輯スルヲ掌ル

翻譯局

此局ハ諸翻譯ノヲ掌ル

凡ソ此七課一局ノ事務ヲ幹理結括スルハ正權大内史ノ任タルハニ

各課勘査スル諸公文書中財務ニ涉ルハ財務課
法制ニ涉ルハ法制課ニ回送シテ勘査ス各課皆之ニ
準ス

凡ソ諸公文書ヲ勘査スルニ其事務ノ重ニ関スル課
ニテ主査シ其事ノ波及スルモノハ歴査ニ供スルト
心得ヘシ

一紙中数事項ヲ並奉シタルモノハ各課之ヲ歴査シ
其事項ヲ先書シタル課ニ於テ主査ト心得ヘシ
一事項兩分課ノ勘査ニ属スルモノハ之ヲ合シテ一議
案ニ立一キモノハ主査ノ課ニテ具説ヲ収メテ立据

シ其事ノ結束ヲナスヘシ

内史ハ外史ヨリ送致スル諸公文ノ件銘ヲ簿帖
登記シ議案ヲ造リ勘査謬リナキヲ保シテ議官
ニ供スヘシ

議官ノ考案ニヨリ新ニ規則ヲ立テ又ハ旧規ヲ
改正スルヲアレハ其要旨ヲ記シテ議案ニ供ス
諸建白書ノ集議院ヨリ上ルモノ大内史之ヲ勘査
シ議官ノ覽閱ニ供ス

官中判任以下ノ進退ニ權大内史ノ具狀ヲ以テ
議官之ヲ決ス

各課中要務ノ順序及課程ヲハ各課長考案シ具
シ大内史ニ高議シ議官ノ決定ヲ受クヘシ

外史官事務章程

外史官ハ大外史諸課ノ事務ヲ幹理シ了局結
括スルノ責ニ任シ少外史及奏任出任ハ專務ノ
課程ヲ分掌シ各其主任ノ責ニ任スヘシ
大外史ハ正院ノ小印ヲ預リ太政大臣ノ命ニ
ヨリ諸公書ニ押スヘシ
大外史ハ奏問受行傳達ヲ掌ル
大外史專任ノ科目左ノ通タルヘシ
詔勅國書委任狀諸布告指令等ノ傳達各省使
寮司及府縣諸公文書ノ受行

官記位記ヲ式部ニ送達スル事
官負出張在勤ホラ命スル書及賞典ホノ諸達
官中諸達

恒例ニヨリ布達スル
諸届

恒例ニ照シテ處分スルキ通常ノ事件

凡ソ此條件ヲ專任トス故ニ少外史ニ及奏任出
仕ヲ直録ニ記録課ノ課長ヲ任スル
外史所官ノ各課凡ノ通タレハシ

記録課 受任申達此課ニテ分任ス

此課ハ官中一切ノ記録ヲ編輯スルヲ掌ル

用度課

此課ハ官中一切用度ノ事ヲ掌ル

印書局

此局ハ一切印刷ノ事ヲ掌ル

博覽會事務局

此二課ニ局ノ事務ヲ幹理結括スルハ大外史ノ任
トス

凡ソ各省使寮司府縣子ヨリ上進スル諸公文書
中恒例通常ノ事件ハ成規ニ據リ舊格ニ照シテ

指令ノ文券ヲ具シ之ヲ奏シ法裁ノ上奉行スヘシ
定式諸届書ノ類ハ其事柄ニヨリ直ニ之ヲ奏シ
或ハ其類ヲ合輯シテ毎週又ハ毎月ト定メ覽閱
ニ供スヘシ
前兩條ニ所載ノ外ハ一切ノ公文書類各省使寮
司府縣ヲ區別シ其件銘并号數月日ヲ簿帖ニ登
記シ即日内吏ニ送致スヘシ
奏問允裁ノ諸公文書ハ即日又ハ翌日迄ニ奉行
スルヲ恒例トス

但奉行セハ其名ヲ簿帖ニ記スヘシ
諸公文書類允裁ヲ經テ奉行セシモノ直ニ記録
課ニ付シ謄寫編輯セシムヘシ

但編輯謄寫ノ體書冊簿帖ノ法一定ノ規則
ニヨルヘシ

官中用度ノ定額ニ據リ恒例ニ照スヘキモノハ之ヲ
處分ニ都テ諸會計ノ封印ヲ押スヘシ
官中定額恒例外ノ諸用度ハ内閣ノ議決ヲ受テ
處置スヘシ
正院月報書并各課考課狀ヲ毎月又ハ毎三月内

閣ニ送ルヘシ

外史所管判任以下ノ官負ノ進退等外ハ專決シ

等内ハ大内史ノ決ヲ取ルヘシ

但等外ト雖モ増減スル時ハ大内史ニ諮ル
ヘシ

各課中處務ノ順序規則等ハ制定改正増減トモ
考案ヲ具シ大内史ニ商議スヘシ

